

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.36》2016年2月発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
horis-syunro@pref.oita.lg.jp

先月の大型寒波到来は大分も例外でなく、特に24日は玖珠で最低気温-10.5℃、大分市内でも-2.6℃を記録、大雪により中津では降雪15cm、大分市内でも積雪が見られ、交通機関の乱れや水道管破裂等による断水など各地で影響が出たところ。この冬はアジア各地や欧米でも記録的な寒波が襲ってきていますが、大分でもまだまだ寒い冬が続きそうです。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について



企画振興部
芸術文化スポーツ局
国際スポーツ誘致
・推進室
室長

山崎 吉明
(Yoshiaki YAMASAKI)

【連絡先(Mail)】
yamasaki-yoshiaki@pref.oita.lg.jp

国際スポーツ・誘致推進室では、ラグビーワールドカップ2019の開催準備や東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致に取り組んでいます。ラグビーW杯関係では、昨年10月中旬に官民40名からなる視察団を組んでイングランド大会視察を行い、大会の盛り上がりや、試合会場などの施設、輸送交通などを学ぶことができました。2019年の大分開催が成功するよう、着実に準備を進めていきます。

また、事前キャンプ誘致では、昨年8月に世界陸上北京大会に出場するポルトガル代表チームのキャンプ誘致に成功しました。3月にはフェンシングワールドカップ(韓国)に出場する日本代表とロシア代表の事前キャンプも決定しています。

今後も国際スポーツの誘致を通じた地域の元気づくりに取り組んでいきますので、皆さま何か関連情報があれば是非お知らせ願います。



↑ポルトガル選手による陸上教室
←南アフリカ応援団との交流

海外大分県人会交流掲示板



ハノイ大分県人会からお便り

昨年、2015年11月24日(火)に、「第2回・ハノイ大分県人会」を開催しました。会場は、一昨年の第1回目に引き続き、別府出身のご主人が経営するハノイ市内の和食屋「おはん」です。当日は、県内で生まれ育った方に加え、家族・親戚が県内の出身である、県内での就学・就業経験があるなど、大分県と何らかのつながりを有する日本人・ベトナム人総勢15名が参加しました。会場では美味しい料理、そして大分の焼酎を味わいながら、各自の大分への思い出を語り合い、楽しいひと時を過ごしました。

ハノイ大分県人会(連絡係) 安藤憲吾

注目記事① 「大分をもっと知って！」留学生スタディツアー

NPO法人 大学コンソーシアムおおいたは、大分県から委託を受け、大分県の奨学金を受ける留学生を対象に、県内を巡るツアーを実施しています。県内の各市町村・地域の特徴を体験できるようにツアーを組み、年間4回実施しています。県内すみずみまでしっかり学んで、もっと大分県について好きになってもらい、将来的にもずっと想いや繋がりを保ってほしい、と考えています。スタディツアー後には、留学生個人のSNSやブログにレポートを掲載するよう依頼しており、大分の魅力を内外に情報発信できることも期待しています。

平成27年度のスタディツアーのようす



〈八鹿酒造(株)見学〉

第1回目は、九重・玖珠地域めぐり、お酒造りにかせない豊かな自然、水、地元食材、ラムサール条約登録湿原など、主に美しい「環境」とそれを守る地域のことを学びました。



〈野津町・吉四六さん村グリーンツーリズム研究会〉

第2回目は、農作業体験、一般農家への宿泊、郷土料理作り体験等、「農泊」をツーリズムにとりいれた取り組みを学びました。



〈やかた田舎の学校〉

第3回目は、蕎麦の生産・消費の多い耶馬溪にて、そば打ちを体験し、午後は福沢諭吉旧居や中津城など中津の歴史を学ぶツアーとなりました。

各回で、それぞれの地域の特徴や歴史を学ぶと同時に、地域の方々の温かいおもてなしを受け、留学生それぞれが魅力を体感してくれている、と感じています。今後も留学生に出来るだけ多くの体験をしてもらえるよう、企画していきます。

[大学コンソーシアムおおいた]

注目記事② 日出総合高校の生徒が韓国の高校生と交流

1月21日、修学旅行で来県中の韓国・青鶴(チョンハク)高等学校の生徒80名が大分県立日出総合高等学校にて交流を行いました。

韓国の生徒は、茶道部の部員らとともに茶道を体験し、また、2年連続高校チャンピオンを輩出した自転車部が披露したローラー練習の様子には大きな歓声が上がりました。生徒どうしが自由に交流する時間も設けられ、韓国語・日本語・英語、そしてスマートフォンを駆使しながら積極的に会話をし、「アルバイトは何をするのか」「どんな韓国の歌手が人気か」といった話題に意気投合する様子が伺えました。

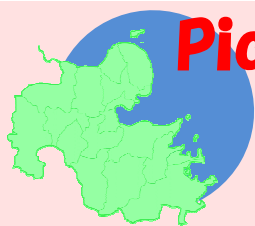
短い交流の時間でしたが、最後に日韓の生徒代表が「韓国が大好き。これからもっと韓国のことについて知りたい」「今まで思っていたのとは違って、日本に対する印象が変わった。とても楽しかった」と感想を述べたのが印象的でした。

昨年度、大分県では約80団体、1,600人以上の訪日教育旅行に伴う学校交流等の受入れを行っています。若い世代が直接ふれあい、互いの考え方や慣習等を理解し合うことで、よりよい国際理解につながることを期待しています。

[国際政策課]



↑自転車部によるローラー練習
←茶道部による茶道体験



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事(1月)

News

【1月4日(月)】別府市の河村真実さん、フィジー名誉領事に

別府市の河村真実さんが南太平洋・フィジーの名誉領事に就任しました。河村さんは、同国の大使が大分県でビジネスセミナーを開催した際に協力するなど、2013年頃からフィジーと日本との交流に力を注いできました。今後、河村さんの会社兼住宅は駐日公館の一つになり、県内で暮らすフィジー人の援助、パスポートやビザの発行手続を行うほか、県内でフィジーの魅力を伝えたり、フィジーとの経済、文化交流の橋渡しの役目を担うことになります。



News

【1月4日(月)】「TAO」2月に念願のブロードウェイ公演

竹田市久住町に拠点を置く和太鼓のアーティストグループTAOが、2月にアメリカ・ニューヨークにて念願のブロードウェイ公演に挑戦します。TAOが久住に拠点を置いて約20年。和太鼓にショーの要素を融合させたパフォーマンスは国内外で支持され、これまでに世界22カ国でツアーを敢行しています。TAOにとってもブロードウェイでの公演は大きな目標の一つ。公演は、パフォーマンスに初めてストーリー性を持たせた意欲作となる予定です。



News

【1月11日(月)】豊後高田で「ホーライエンヤ、エンヤノサッサ！」

1月10日、江戸時代から続く豊後高田市の伝統行事「ホーライエンヤ」が市中心部の桂川で行われました。大漁旗で彩られた宝来船がゆっくりと蛇行しながら川を進み、川岸に近づくと乗船した関係者らが縁起物の紅白餅をまき、見物客は競うように取り合います。川岸の観衆が供え物の祝儀を差し出すと、こぎ手の若者は勢いよく川に飛び込み、受け取りに向かいます。この日の水温は5.5度。見物客からは大きな歓声が上がっていました。



News

【1月18日(月)】高崎山人気ザル、イケメン選抜総選挙

大分市の高崎山自然動物公園は「人気ザル、イケメン選抜総選挙」の開票結果を発表しました。人気ザル(♀)部門では、昨年5月に生まれ英国王女と同じ名前で話題になった「シャーロット」が2,255票を得てトップに。また、イケメン(♂)部門は、800票を獲得した12才の「ムサシ」が制しました。申年ということもあり、年始休み期間中は通常の約3倍もの来園者が訪れたということで、投票総数も過去最多を上回りました。



News

【1月19日(火)】高校生が「芸能プロダクション」を設立!?

中津東高校マーケティング部は学習の一環で市内外でのイベント活動に参加しています。これまでに、市内にカフェや食堂を定期的に出店する取り組みを行っており、今回、校内で歌などの一芸に秀でた在校生を地域のイベントに派遣する「プロダクション業務」を始めました。現在は、4人の歌手と同校吹奏楽部の1組が所属。昨年12月に本耶馬溪町で行われた「禅海ふるさと祭り」ではマーケティング部員も進行役を務めるなどステージ運営を経験したそうです。



News

【1月25日(月)】大分県立美術館「日本建築大賞」を受賞

大分県立美術館(OPAM)が、日本建築家協会が決める「2015年度日本建築大賞」に選ばれました。同賞は優れた建築物の価値を社会に伝えることが目的。設計は坂茂建築設計で、外観は竹工芸をイメージしたデザイン。全面ガラス張りの1階は移動壁で自由にレイアウトができることなどが高く評価されたとのこと。今年度は全国から264点の応募があり、審査員5人の投票で大賞が選ばれました。



From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。

 <p>ミアム・スターリング (Miriam Starling) 県国際交流員 英国 pu101503@pref.oita.jp</p>	<p>最近、大分県の美味しい所巡りをしています。1月、誕生日会のため、大分市府内町にあるハワイ・カフェに行きました。ハワイ料理も美味しかったし、オーナーさんの3匹の犬もフレンドリーでかわいくてたまらなかったです。もう一つの誕生日ディナーは大分駅の近くにあるスペイン・イタリア風のレストランでした。ヨーロッパ人として、大分でも美味しいヨーロッパ料理が食べられてうれしいです！また、洋食だけではなく、新しい和食も味わいました！大分県の魅力体感ツアーで津久見市に行って、津久見市の名物「ひゅうが丼」を食べ、「マグロ・コロッケ」や「マグロ・フライ」も食べてみました。窓から海が見える場所で、海の幸を食べるのは最高でした。「ごまだれ」を使った丼も初めてでした。今後も、大分の美味しい所をもっと見つけたいと思います。</p>	
 <p>李 晓雪 (Li Xiaoxue) 県国際交流員 中国 pu101501@pref.oita.jp</p>	<p>先週の週末、寒波に見舞われて猛烈な吹雪でしたから、あちこちはあつというまに雪景色になりました。部屋の中が、あまりに寒くて、友達と相談したら、「一緒に別府へ温泉に入りに行きましょうか」となって、すぐに別府へ向けて出発しました。しかし、大分市から別府湾へ入ると、天気がよくなり、どちらも一面の銀世界に驚いてしまいました。雪景色の中の常緑樹と頑張っている花がとっても可愛いと思いました。</p>	
 <p>金 眞雅 (Kin Jina) 県国際交流員 韓国 pu101502@pref.oita.jp</p>	<p>先日、待ちに待った家族が大分に来てくれました。どこに連れて行こうか、すごく迷いましたが、初めての県大分ということで、まずは温泉を楽しんでもらいたいと思いました。 家族と車をレンタルして別府の「かまど地獄」などの観光地を回って、地獄蒸し料理が体験できる工房にも行き、家から持ってきた食材を直接蒸し上げて食べました。温泉の蒸気で蒸した野菜は甘味もあってとてもおいしかったです。また、湯布院の旅館にも泊まったのですが、由布岳を眺めながら入る温泉がとても気持ち良くて、家族みんな何回も温泉に入っていました。帰りに行った九重夢大吊橋は怖くて綺麗な景観が目に入らなかったのですが、私がどこへ連れて行っても家族は満足してくれたので、嬉しかったです！</p>	
 <p>シェリダン・ミキシック (Sheridan McKisick) 県国際交流員 米国 pu1014001@pref.oita.jp</p>	<p>世界中で、最高の気持ちは本に囲まれることだと思います。でも、本屋で小説を買うより、無料で本を読みたかったです。そこで、図書館に行きたいと思い、大分県立図書館に行くことにしました。理由は、日本語の本も英語の本もあるということでしたし、他の図書館より県立図書館は近いからです。 大分で図書館に行ったことがなかったので、本を借りる前に「資料利用券」を作らなくてははいけませんでした。この作り方は無料で簡単で早くとても良かったです。 今回、借りた本は英語でしたが次回に日本語の本を借りるつもりです。一番好きな日本人作家は吉本ばななです。これから、いろいろな英語に翻訳されていない小説を読むことを楽しみにしています。</p>	



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【姫島村／日出町】



（姫島村）
「姫島の七不思議・千人堂」
観音崎にある小さなお堂



（姫島村）
「姫島灯台」
1970年までは灯台守が置かれたが、その後、自動化された



（日出町）
「松屋寺の大蘇鉄」
高さ約6.4m 周囲約4.5mもあり、作家・阿部いづみさんの作品を樹齢約700年



（日出町）
「石ころたちの動物園」
作家・阿部いづみさんの作品を展示したミュージアム



話題提供のお願い！

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！（様式は任意です）

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当：平山（ひらやま）
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

